

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2009 助成の概要と推薦理由

助成番号 09-1-1

プロジェクト名 長期入院の子どもと家族の生活の質を高めるための
遊びのボランティア派遣とその普及啓発事業
団体名 特定非営利活動法人
病気の子ども支援ネット遊びのボランティア
代表者名 坂上 和子
所在地 東京都
助成額 200万円
助成期間 2009年10月1日～2010年9月30日
設立年 1991年
URL <https://www.hospitalasobivol.jp//>



病院は医療優先のために、子どもの成長・発達との両立が難しい。小中学校は義務教育のために院内学級や教師の訪問があるのでまだしも、それ以下の年齢の子どもには公的な保育の機会提供はない。一方で、育ち盛りの子どもにとって入院生活は制約や我慢を求められることが多く、大人に比べてさらにストレスを強いられている。

このような中で、遊びによる気分転換や知的好奇心への刺激は、病気を乗り越えようとする力につながる大切なものである。さらに子どもが保育士やボランティアと遊ぶ時間は、長時間付き添い続ける家族の気分転換になったり、ベッドサイドを離れて一息つく機会の提供にもなっている。また事情により付き添えない家庭もあり、一人でいる時間の長い子どもがいるという現実もある。

このような子どもと家族に対して、保育士が中心になり遊びのボランティアを行っているのが本団体である。本団体は1991年に活動を始め、現在は国立国際医療センターを中心に医療スタッフと情報を共有しながら遊びのボランティアを行うと同時に、他団体の活動の立ち上げ支援も行い、病棟における保育の大切さを広く社会にアピールしながら、病気の子どもの子育てを社会の側から応援している。

今回の助成では、本団体の活動を継続させることで組織基盤を強化し、全国の病院にこのような社会的な取り組みの大切さを伝えることを応援する。遊びを通じて子どもとその家族の生活の質の向上を図ることは本プログラムの趣旨に合致しており、地道な日常の活動の継続を評価し、加えて先行団体として本活動の大切さを広く伝え、他団体を支援することを期待し、助成することとした。